

ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2016年1月19日号 (通算第4号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

齊藤孝著「マンガで覚える四字熟語・小学生が知っておきたい四字熟語 250」岩崎書店 本体 1100円

最近、小学生で、四字熟語を会話の中にはさんでいて、感心することがあります。本書は、たとえば「一石二鳥」一つのことをして二つのものを手に入れること、さらに意味が詳しく説明してあり、使い方も紹介されていて、しかも漫画で状況が示されています。

1. カンタン四字熟語 (一所懸命など38)、2. 頭よさそう四字熟語 (切磋琢磨などちょっと難しいもの17)、3. 大人もびっくり四字熟語 (当意即妙など結構難しいもの15) が紹介されています。小・中学生も、大人も勉強になります。

春夏秋冬

季節

(4字)

(2字)

大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

江藤真規著「ママのイライラ言葉「言い換え」辞典」

扶桑社 本体 1200円



私は、4人の孫がいますが、ちょっとしたことでイライラしてつい怒って大声で叱りつけてしまいます。息子に「アルツハイマーじゃないのか？検査を受けた方がいいよ」と窘められています。

「いい加減にしないで！」「まったくもう！」「反省しないで！」「やる気あるの！？」「いつまでテレビ見てるの！？」など、ついつい口から出てしまいます。それを、このように言い換えたなら「叱り方上手ママ」になって、子どもとの関係もうまくいくし、

効き目があるそうです。私も今、テレビを見ながら(?)読んでいます。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

日本思想学習指導研究会編「日本の思想家・珠玉の言葉百選」 日本教育新聞社 本体 1000円

次の2つの言葉は誰が言って、どういう意味か分かりますか。(失礼)

「人を信じよ、しかしその百倍も自らを信じよ」「学問は、ただ年月長く倦まずおこたらずして、はげみつとむるぞ肝要にて、学びやうは、いかにようにてもよかるべし」



前者は、手塚治虫の「未来へのことば」の中の言葉で、漫画を描き続けられたのははじめにあってもくじけず、家族や友人の支えとともに「自分自身を信じること」だったという。後者は、本居宣長の「うひ山ぶみ」の中の言葉で、「学問は長い年月を持続させて努力することが大切であり、学び方はどのようなものであっても構わない」と言う意味である。何とも含蓄のある言葉です。このような人生の指針や教育活動のヒントになる言葉が、芸術8人、環境4人、海外へ発信5人、女性の自立8人、経営者5人、古典文学7人、近代文学9人、進行13人、儒教10人、国学者5人、町人思想4人、農民思想2人、洋学者8人、近代日本哲学4人、近代政治思想8人と、珠玉の言葉が満載です。

<注：この欄で、色々な本を紹介するのはあくまでも情報提供です。①本欄を読むだけ、②関心があるので図書館で読んだ、③友達に借りて読んだなど、どうなさるのかはご自身の判断でお願いします。決して、押し付ける意図はございません。念のため。>

